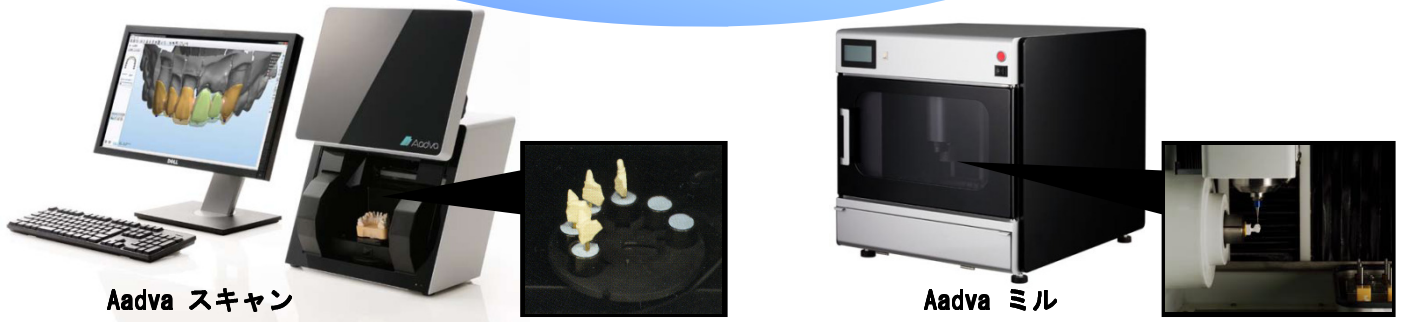


CAD/CAM センター

当院では、ジーシー社製歯科用CAD/CAMシステム Aadva Verita Lab を導入したCAD/CAMセンターを院内に開設し、コンピュータによる自動機械加工により、歯に装着する補綴装置（かぶせ物など）を製作することが可能です。

従来はつめ物やかぶせ物は、歯科技工センターにおいて手作業で製作されていましたが、歯科用CAD/CAMシステムの導入により、歯の模型計測から成形まで、院内のコンピュータで自動機械加工を行うことができるようになりました。

歯科医師の診査・診断後、補綴処置を行う歯を削り、印象採得を行って作業模型を製作します。スキャナを用いて作業模型の三次元計測を行い、作業模型の形状に適合する補綴装置の設計を行います（この測定と設計をCADという）。その形状データが加工用データに変遷され、ブロックから補綴装置が自動的に削り出されます（この自動機械加工をCAMという）。歯科技工士による仕上げにより完成した補綴装置を口腔内で調整し、歯に装着します。



作業模型の三次元スキャン

補綴装置のデザイン

大臼歯咬合面のデザイン

CAM

Computer Aided Manufacturing

ハイブリッドレジン クラウン

ジルコニアフレームの製作
(自動機械加工)

陶材を焼き付けて完成
(院内歯科技工士による)

CAD

Computer Aided Design

オールセラミック クラウン

オールセラミック ブリッジ

口腔内で調整して歯に装着